

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】令和5年12月13日(2023.12.13)

【国際公開番号】WO2022/196039

【出願番号】特願2023-506772(P2023-506772)

【国際特許分類】

H 0 1 M 10/0587(2010.01)

H 0 1 M 10/052(2010.01)

H 0 1 M 4/525(2010.01)

H 0 1 M 4/505(2010.01)

H 0 1 M 4/62(2006.01)

H 0 1 M 4/131(2010.01)

H 0 1 M 50/107(2021.01)

H 0 1 M 50/538(2021.01)

10

【F I】

H 0 1 M 10/0587

H 0 1 M 10/052

H 0 1 M 4/525

H 0 1 M 4/505

H 0 1 M 4/62 Z

H 0 1 M 4/131

H 0 1 M 50/107

H 0 1 M 50/538

20

【手続補正書】

【提出日】令和5年9月1日(2023.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

次に、図5を参照しつつ、電極体14の構成について説明する。図5は、図4に示す二次電池10における電極体14の斜視図であって、巻外端部近傍を展開した状態での正極11、負極12、及びセパレータ13の構成を示す図である。電極体14において、正極11は、負極12及びセパレータ13よりも上方に突出している。これにより、正極11は、正極集電部材50と接続される。図5に示すように、正極11は、上端部に正極集電部材30が露出した正極集電体露出部34を有してもよい。これにより、正極11と正極集電部材50をより確実に接続することができる。他方、負極12は、正極11及びセパレータ13よりも下方に突出している。これにより、負極12は、負極集電部材52と接続される。図5に示すように、負極12は、下端部に負極集電体40が露出した負極集電体露出部44を有してもよい。これにより、負極12と負極集電部材52をより確実に接続することができる。

40